



2019年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月13日

上場会社名 株式会社エル・ティー・エス
コード番号 6560 URL <https://lt-s.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樺島弘明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室担当 (氏名) 小松裕之

TEL 03-5919-0512

四半期報告書提出予定日 2019年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	860	11.3	116	52.0	115	51.3	76	47.3
2018年12月期第1四半期	773		76		76		51	

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 76百万円 (48.3%) 2018年12月期第1四半期 51百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	18.74	17.30
2018年12月期第1四半期	13.74	11.72

(注) 当社は、第1四半期の業績開示を2018年12月期より行っているため、2018年12月期第1四半期の増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	2,003	1,434	71.6
2018年12月期	1,892	1,346	71.1

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 1,434百万円 2018年12月期 1,346百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		0.00	0.00
2019年12月期					
2019年12月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	7.0	300	11.0	295	9.4	200	8.2	49.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	4,091,900 株	2018年12月期	4,070,800 株
期末自己株式数	2019年12月期1Q	株	2018年12月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	4,080,480 株	2018年12月期1Q	3,778,500 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年1月1日～2019年3月31日)における我が国経済は、雇用環境や企業収益の着実な改善が続き、緩やかな回復基調が続いたものの、欧米の政策転換や通商問題に対する警戒感等、世界経済に対する懸念事項も多く、先行きには、依然として不透明感が漂っています。

当社グループ(当社及び連結子会社を言う、以下同じ。)の主たる事業領域である情報サービス産業は、経営のデジタルトランスフォーメーションに関する注目度が高まる中、AI、RPA(Robotic Process Automation)等の業務ロボット導入や、ビッグデータを活用したデジタルマーケティングの導入等、市場環境の変化に対応し、競争力を確保するための戦略的なIT投資が拡大を続けるなど、堅調に推移しています。

このような経営環境のもと、当社グループは、ロボティクス・AI・ビジネスプロセスマネジメントを活用することによって、企業変革と働き方改革を促進支援する会社として、顧客の現場に入り込み、顧客の課題や変革テーマに応じた各種支援をワンストップで提供するプロフェッショナルサービス事業及び企業のIT人材不足を解消するプラットフォーム事業を展開してまいりました。プロフェッショナルサービス事業では、働き方改革やRPA導入等の先進テーマについて、テクノロジーを活用した支援実績の蓄積を進めるとともに、外部企業との連携も強化し、顧客ニーズを踏まえたサービス提供を進め、プラットフォーム事業では、「アサインナビ」のリニューアルを行うなど、安定的な事業基盤構築に向けた投資を継続しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高860,401千円(前年同期比11.3%増)、営業利益116,013千円(前年同期比52.0%増)、経常利益115,847千円(前年同期比51.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益76,475千円(前年同期比47.3%増)となりました。

セグメントごとの業績(売上高には内部売上高を含む)は、次のとおりです。

(プロフェッショナルサービス事業)

プロフェッショナルサービス事業では、IT部門が置かれている環境が変化中、顧客企業との関係を強化し、戦略を実現するためのビジネスプロセスマネジメント能力を強みとする従来型のコンサルティング案件の獲得が堅調に推移いたしました。FPTジャパンホールディングス株式会社との業務提携等、テクノロジー企業を中心に外部企業との連携を引き続き強化し、デジタルトランスフォーメーション案件を中心に、提供サービスの拡大と更なる品質向上に向けて、積極的な取り組みを推進しました。

この結果、プロフェッショナルサービス事業の売上高は828,739千円(前年同期比12.0%増)、セグメント利益(営業利益)は113,760千円(前年同期比54.6%増)となりました。

(プラットフォーム事業)

プラットフォーム事業では、IT業界に特化した、ビジネスマッチングと学びの場を提供するプラットフォームである「アサインナビ」の会員数は、法人・個人を合わせ7,200を超え(2019年3月31日現在)、順調に成長を続けております。会員基盤の拡大に伴い、マッチングや会員向けサービスの実績も拡大しておりますが、調達/営業活動の更なる効率化に向けて、AIエンジンによるマッチング・レコメンド機能を新たに拡充するなど、「アサインナビ」のリニューアルを行うとともに、人と企業の成長創造インフラとなるべく、「アサインナビ」以外の新たな会員向けサービスやデータサービスの企画・開発にも取り組みました。

この結果、プラットフォーム事業の売上高は40,180千円(前年同期比4.4%増)、セグメント利益(営業利益)は2,252千円(前年同期比18.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は2,003,751千円となり、前連結会計年度末に比べ111,317千円増加しました。これは、主に売掛金が102,888千円増加したことによるものであります。

負債は569,719千円となり、前連結会計年度末に比べ23,457千円増加しました。これは、主に賞与引当金が23,638千円増加したことによるものであります。

純資産は1,434,032千円となり、前連結会計年度末に比べ87,860千円増加しました。これは、主に利益剰余金が76,475千円増加したことによるものであります。自己資本比率は、71.6%となっております。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四

半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきまして、2019年2月8日に決算短信で公表いたしました内容に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,283,878	1,283,048
電子記録債権	45,439	49,618
売掛金	363,031	465,920
仕掛品	47,784	40,320
その他	26,850	27,341
流動資産合計	1,766,984	1,866,250
固定資産		
有形固定資産	35,621	47,282
無形固定資産	11,439	10,425
投資その他の資産		
繰延税金資産	38,449	40,081
敷金及び保証金	39,589	39,325
その他	349	385
投資その他の資産合計	78,388	79,792
固定資産合計	125,448	137,501
資産合計	1,892,433	2,003,751

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	188,329	202,033
1年内償還予定の社債	5,000	—
1年内返済予定の長期借入金	15,996	15,996
未払金	101,929	78,056
未払法人税等	54,196	46,916
賞与引当金	58,503	82,142
その他	91,628	117,893
流動負債合計	515,582	543,039
固定負債		
長期借入金	30,679	26,680
固定負債合計	30,679	26,680
負債合計	546,261	569,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	496,760	502,460
資本剰余金	427,085	432,785
利益剰余金	421,990	498,465
株主資本合計	1,345,836	1,433,711
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	335	320
その他の包括利益累計額合計	335	320
純資産合計	1,346,171	1,434,032
負債純資産合計	1,892,433	2,003,751

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
売上高	773,038	860,401
売上原価	487,132	495,531
売上総利益	285,905	364,870
販売費及び一般管理費	209,583	248,856
営業利益	76,321	116,013
営業外収益		
受取利息	37	0
為替差益	367	11
その他	170	171
営業外収益合計	575	184
営業外費用		
支払利息	335	200
その他	18	150
営業外費用合計	354	350
経常利益	76,543	115,847
税金等調整前四半期純利益	76,543	115,847
法人税、住民税及び事業税	17,768	41,004
法人税等調整額	6,844	△1,632
法人税等合計	24,613	39,372
四半期純利益	51,929	76,475
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	51,929	76,475

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
四半期純利益	51,929	76,475
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△382	△14
その他の包括利益合計	△382	△14
四半期包括利益	51,547	76,460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,547	76,460
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、ストック・オプションとしての新株予約権の権利行使により、資本金が5,700千円、資本準備金が5,700千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において、資本金が502,460千円、資本剰余金が432,785千円となっております。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額 (注)1
	プロフェッショナルサービス事業	プラットフォーム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	824,505	35,895	860,401	—	860,401
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,233	4,285	8,518	△8,518	—
計	828,739	40,180	868,920	△8,518	860,401
セグメント利益	113,760	2,252	116,013	—	116,013

(注)1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。